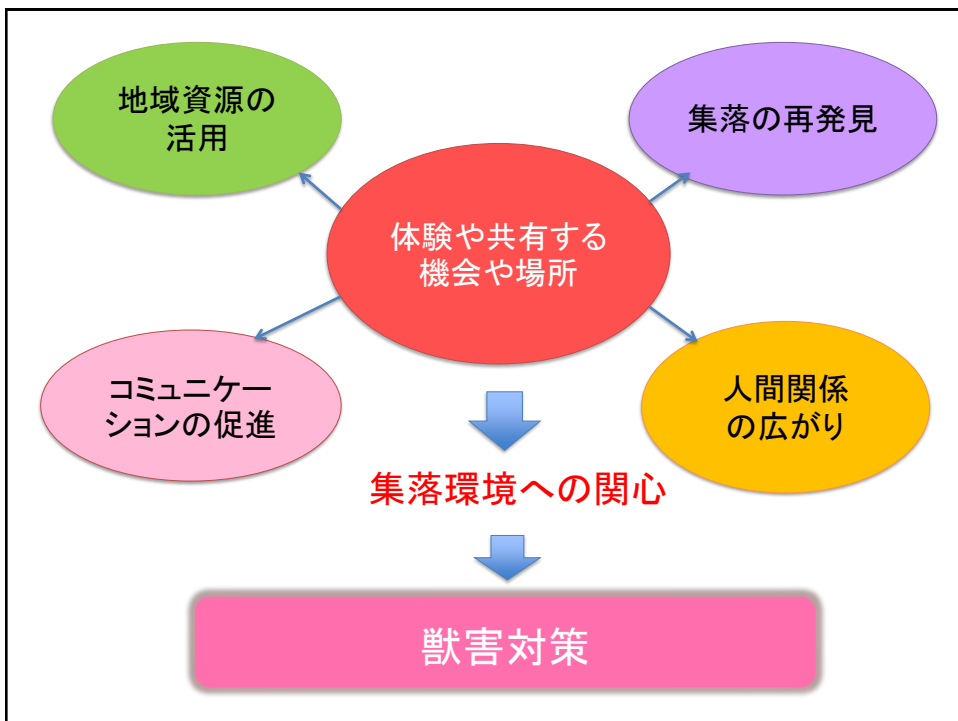






住民が集落環境に関心を持った！

住民参加で 集落環境を診断する

～ 獣の視点から地域を見てみよう ～
2016.11.6

住民参加で集落環境を調査

診断のポイント

- (1) どれだけ多くの住民が参加するか
- (2) 住民自らが、現状を確認する
- (3) 住民自らが、課題と対策を見つける





一緒に体験をして、情報を共有、対策を立てる
 調べたことを地図に描き、分析すると課題が見えてくる



ワークショップによる合意形成

(1) 集落環境を改善しよう！

荒廃した里山や耕作放棄地など集落環境を整備

(2) 餌となる誘引物を撤去しよう！

残さや果樹など誘引物などの処置と対策

(3) 電気柵の不備の解消しよう！

電気柵の正しい張り方と有効な管理体制に構築

(4) イノシシ対策をたてよう！

増加するイノシシの脅威に対する対策

自治会の活動として取組みを強化

人

被害防除

電気柵などで農作物を
守って被害を減らす
直接的防除

新たな取組み

- 自治会で獣害対策費を予算化
- 電気柵の計画的な維持管理体制
⇒ チーム編成で定期的な管理



10人単位5チームで管理



地権者の同意で集落資源の整備・活用

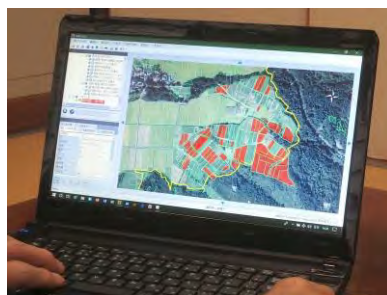
環境

生息地管理

集落周辺の森林の伐採
による間接的防除

取組みの強化

- 里山整備や耕作放棄地の解消
計画的な環境整備と土地活用
- 放置された果樹の伐採
資源活用として柿酢作りの体験



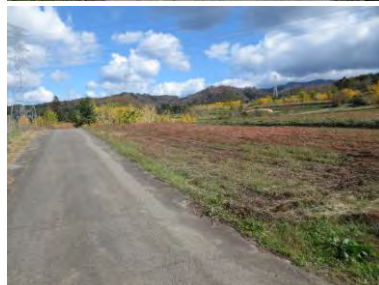
GISで土地の共同管理を行っている



里山の整備と耕作放棄地の解消



耕作放棄地を農地に復旧



見通しの良い集落環境づくり



自己管理できない農地の共同管理

土地の有効活用を図り、約4haの畑で蕎麦を栽培

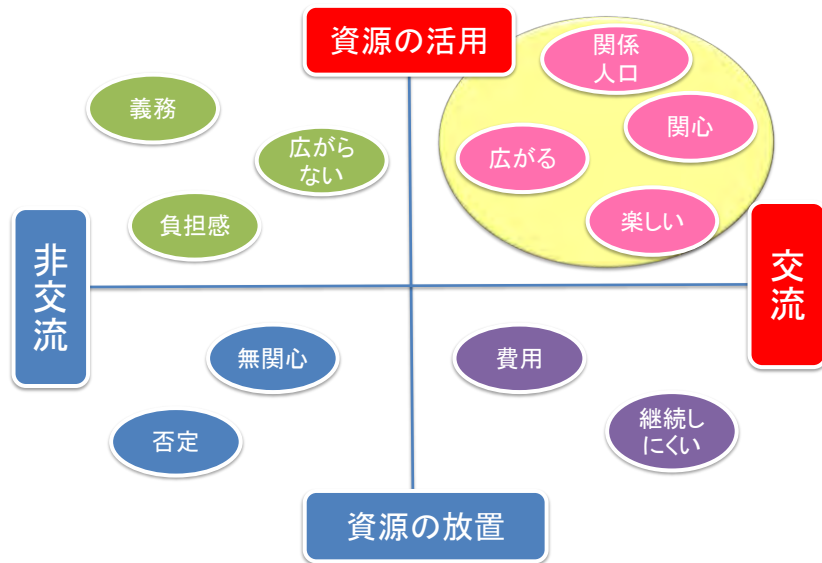
2月の第1日曜日には「蕎麦を食べる会」を開催



集落資源の活用と環境改善で効果が発揮！



集落ぐるみの活動の方向性



**集落再生は人の心を豊かに
獣害に強いムラをつくる**

耕作放棄地がビオトープに
集落の水辺が憩いのひろ場に
荒れた畑が蕎麦畑になった
住民の関心が高まれば
集落環境が改善し
獣害に強い集落になる



集落の「強み」は、地域資源があること
それゆえに、資源の放棄は「弱み」となる

映画「7人の侍」と獣害対策

秋になるといつも山賊がムラにやってくる
村人は、諦めるか、戦うか、悩んだ末に
自らが立ち上がる決心をする

集落で取り組むということに関しては
獣害対策に共通したものがある

ご清聴ありがとうございました



上三光清流の会 代表 小柳 繁